

## 4月定例山行 瑞牆山山行報告書

(山域) 奥秩父

(コース) 瑞牆山荘～富士見平小屋～瑞牆山～富士見平小屋～瑞牆山荘

(日時) 4月9日(土曜日)

(天候) 晴れ

(参加者) CL: 内堀(記録)・八十木・清野・時田

(山行タイム)

瑞牆山荘 9:30～富士見平小屋 10:15～瑞牆山 12:50～瑞牆山荘 15:40

(山行報告)

千葉駅北口に 5:40 集合して、出発する。本日、入会まもない八十木さんも参加された。本日参加予定の小川さんは、航空関係の仕事で早朝までの出勤となり不参加となった。湾岸線・首都高・中央道と順調に進み、休憩も取らず須玉ICで降りて、一気に瑞牆山荘を目指す。塩川ダムより左側道路を通り、道幅の広い道を選択する。途中みずがきランド入口の表示があり、一旦STOPする。右側に入り口があるため、表示板を良く見るためバックする。この道は緩やかなカーブがあり、そのままバックしたため、左後方タイヤが側溝に落ちてしまう。この側溝幅で中々出せない。左バンパーは壁におもいきり当たっており、被害の大きさを認識するが、どうする事も出来ない。JAFを呼ぶと1時間10分程度と言われたがお願いした。する事もなく食事を始める。外で20分程度ぼーとしていると、地元の人が止まってくれた。ラッキーな事に引き上げ道具があり、牽引用ロープを出し繋げ一気に引き上げ、いとも簡単に上がってしまった。名前を聞く前に颯爽と目的に車を出していった。格好良いね。感謝しても足りない。慌ててJAFに連絡をしてキャンセルを済ませた。瑞牆山荘には10分程度で到着。9:10頃到着。駐車場は空いており、1/3程度しか車が埋まっていなかった。慌てて皆で登山の準備をする。気を取り直して出発する。富士見平は広い尾根道を進み、林道を一回跨ぎ、その先は少し急な坂を登ると、富士見平小屋が表れる。テントが5張程度あった。雪もなく穏やかな陽だまりである。暫し休憩タイムに入り、休憩後瑞牆山を目指す。途中トラバース道を進み、少し下降した地点に川が出現、何時もは涸れているのだが、雪解けの水があるのだろうかと思い、桃太郎岩を脇に見て進む。初めの頃は緩やかな坂道を進むが、途中鎖場を過ぎたあたりから石楠花が表れる。5月末頃になると綺麗な石楠花が見られそうである。かなりの群生地である。そこを抜けると少しづつ勾配が急になり、皆様息が上がっているようである。途中休憩を挟み瑞牆山山頂直行裏側に出る。この道は日当たりが悪く、雪が残っていた。皆は軽アイゼンに履き替えたが、私はそのまま進むが、途中、氷の場所が表れ滑りながら山頂に到着した。一気に視界が開け瑞牆山頂から見る、金峰山・小川山・八ヶ岳・南アルプスが良く見えている。晴れ男健在。暫し写真を撮りまくり、皆との集合写真を収めた。休憩後は一気に下り、桃太郎岩まで来て休憩して、富士見平小屋を目指しトイレタイムとする。この頃になると富士見平小屋はテントが10張程度増えていた。泊る人多いと思う。今丁度良い時期かもしれないね。





休憩後はトボトボ、下山して瑞牆山荘に到着した。到着後はいきなり私の車を見て現実に戻る。山の片付けを済ませ、ゆーぶるにらさきまで一気に向かい、温泉に浸かった。ヤレヤレ。本日のメインである「王仁塚：わにづかの一本桜」に向かう、途中より大きな看板があり、駐車場に止め、歩いていく。かなり立派な桜であり、これは早朝の青空と八ヶ岳をバックにしたらサイコーです。写真スポットエリアはカメラ小僧（ジジも沢山）が沢山陣取っている。どうも、ライトアップが目的の様である。私は三脚が無いので撮れた写真に満足しつつ、車に向かう。女子はカメラ小僧の仲間入りして、ライトアップ写真を収めたようである。結構しぶとい。桜を見た後は、高速手前のラーメン店に入り満幅のお腹で帰葉した。19:30頃の萑崎ICに乗る。渋滞もなく千葉駅には21:45頃到着した。

(追伸)

車の修理であるが、ディーラに持込確認結果は足回りは無事の様で、バンパー交換となり7万円弱の費用が掛かってしまった。保険で支払うより個人支払いの方が保険料UP分を考慮しても安いとの事でした。自分の不注意により、高い山行となってしまった。



以上